



平成17年(2005年)
2/20
第1067号

発行：小平市
編集：生活文化部
防災安全課
〒187-8701
小平市小川町二丁目
1333番地
☎042(341)
1211(代表)

市報 **こだいら**

地震対策 特集号

◇小平市ホームページ <http://www.city.kodaira.tokyo.jp> ◇電子メール info@city.kodaira.tokyo.jp ◇こだいらテレホンガイド ☎042(342)1222

大地震から身を守るために

阪神・淡路大震災から10年、新潟県中越地震から4か月

いつか小平市にも襲いかかるであろう大地震。その被害を最小限に食い止めるために、わたしたちが心がけるべきことは何でしょうか。

この特集号では、新潟県中越地震で被災した方の体験談をはじめ、家庭、地域における地震対策、避難施設などを紹介します。

阪神・淡路大震災から10年、新潟県中越地震から4か月たった今日、自分と家族の安全、そして自分たちのまちを地震から守るために、もう一度家族や隣近所でも話し合い、お互いの役割や今すぐできることを確認し、実行しましょう。



被災した住宅の内部（長岡市）



1階がつぶれ傾いた住宅（長岡市）

●被災した方のお話（左上写真）

最初、頭の後ろを「ガン」と殴られたと思いました。何が起きたのかわからなくて、まわりを見たら、壁が崩れ、家具が倒れ、ガラスが割れ、テレビが飛んだんです。それで地震だと気づいたんです。

床で自分の体を支えるのが精いっぱいでした。



土砂崩れで全壊した住宅（栃尾市）

小平市の被害想定

この被害想定は、平成9年8月に東京都防災会議が公表した「東京における直下地震の被害想定に関する調査報告書」における4つの想定震源のうち、小平市に最も被害を及ぼす例です。

震源地	多摩地区	全壊棟数	485棟
地震の規模	マグニチュード7.2	半壊棟数	1,330棟
地震の型	直下型	焼失棟数	1,208棟
小平市の震度	震度6弱（※）	死傷者数	死者… 28人 負傷者…1,297人

※立っていることが困難で、固定していない重い家具の多くが移動、転倒し、耐震性の低い木造建物では、倒壊するものもある。

地震発生時の行動ポイント

在宅時



あわてない 大きな揺れは約1分

- まずは自分の身を守る
- 火の始末（ガスの元栓・コンセント）
 - 揺れが大きいときは、揺れがおさまってから
- 脱出口の確保（ドア・窓）



1分

大きな揺れがおさまったら、火元の確認

- 出火があれば、初期消火
 - 大きな声で「火事だ～」と助けを呼びながら初期消火
- 家族の安否を確認
 - 家族が家具の下敷きになっていないか
- 靴、厚手のスリッパを履く
 - ガラスや食器の破片でけがをしない
- 非常持出品袋を手近に用意
 - 一次持出品を用意（4面チェックリスト参照）



3~5分



ガス漏れ・漏電・余震に注意

火が天井まで達していたり
建物が壊れそうなときは ⇒ 避難する

家族の安全を確認したら、近所の助け合い

- 出火があれば、協力して初期消火
- 隣近所の安否確認
 - 近所に逃げ遅れた人はいないか
- 行方不明者、けが人の救出・救護



火が天井まで達していたり
建物が壊れそうなときは ⇒ 避難する

外出時

- エレベーターに乗っていたら
すべての階のボタンを押し、最初に停止した階で降り、階段で避難する
- スーパー、デパートにいたら
ショーケース、ショーウィンドーの転倒や落下に注意し、柱や壁際に身を寄せ、バッグやカゴで頭を保護する
- 自動車を運転していたら
一般道路…交差点を避けて、直ちに道路の左側に止める
高速道路…中央部分をあけて、直ちに止める
※車を離れるときは、窓を閉め、エンジンを切り、キーを付けたまま避難する（緊急時に移動することがあるため）。
- 電車・駅のホームにいたら
電車…将棋倒しや網棚からの落下物に注意する。勝手に降車せず、乗務員の指示に従う（雑誌やバッグで頭を保護）
ホーム…ベンチの下に入るか、柱などにつかまる（頭を保護）
※地下鉄は防災設備が整い、比較的安全といわれている。落ち着いて、乗務員の指示に従って行動する。線路周辺の高圧電流に感電するおそれがあるため、勝手に降車しない。
※地下街は耐震設計で、比較的安全といわれている。揺れがおさまるのを待つ。火災の場合は、ハンカチなどで口・鼻を覆い、壁伝いに煙の流れる方へ逃げる。